

中学校  
国語科  
授業改善  
事例Ⅱ

授業改善事例Ⅱ 授業改善の実際編

第3学年

単元名「多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く」

（国語3 光村図書）

1 本単元における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のアプローチ

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の1つのアプローチとして、「生徒の学びの姿」と、「教師の働きかけ」の双方の視点から授業改善を図ることが有効だと考えられます。

本単元においては、次のような視点で授業改善を図ります。

	生徒の学びの姿	本単元における教師の働きかけ
「主体的な学び」	学ぶことに興味や関心をもつ。	・話題や題材の設定を工夫する。
「対話的な学び」	生徒同士の協働や、教職員や地域の人との対話を通じ、自分の考えを広げ深める。	・自他の考えを可視化し整理することができるように、模造紙や付箋を活用して考えを共有できるようにする。 ・立場を明確にした交流を行うことができるように、話し合い活動の前に、自分の考えとその根拠をもたせるための時間を確保する。
「深い学び」	「言葉による見方・考え方」を働かせる。	・言葉で理解したり表現したりしながら、広げたり深めたりした考えを、確認したり関連付けたりできるように、学習したことについて文章で書く場面を設定する。

2 本単元の概要

※本単元の詳細はこちら [📄 授業改善事例Ⅱ 学習指導計画編](#)

(1) 単元の目標

- ① 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕(2)ア
- ② 多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ
- ③ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ
- ④ 言葉のもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

(2) 指導と評価の計画（全5時間）

時	主たる学習活動	評価規準・【評価方法】
1	○単元の目標や計画をつかみ、学習の見通しをもつ。 ○自分の考えを分かりやすく伝える文章にするために、どのような工夫をするとよいかを考える。 ○複数の新聞広告から、題材を選ぶ。	
2	○前時で選んだ題材について分析する観点を決める。 ○観点を基に、題材について分析し、自分の考えを明確にする。	〔知識・技能〕 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【ワークシート】
3	○文章の構成について、多様な読み手を説得できるような論理の展開を考える。 ○批評文の構成を考え、構成メモを作成する。	〔思考・判断・表現〕 「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 【構成メモ】
4	○構成メモを基に、批評文を下書きする。 ○同じ題材を選んだ生徒同士で下書き原稿を読み合い、相互に助言を行う。 ○助言を基に、批評文を推敲する。	〔思考・判断・表現〕 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 【下書き原稿】
5	○批評文を清書し、ほかの題材を選んだ生徒同士で読み合い、相互に助言を行う。 ○読み手からの助言を基に、自分の批評文を評価する。 ○単元全体の学習を振り返る。	〔主体的に学習に取り組む態度〕 粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習の見通しをもって批評する文章を書こうとしている。 【推敲した文章、振り返りの記述（単元の計画表）】

### 3 本单元における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教師の働きかけの具体例

ここでは、本单元における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教師の働きかけの具体例を紹介しします。

#### (1) 生徒の「学ぶことに興味や関心をもつ」姿を実現する教師の働きかけ



学ぶことに興味や関心をもつために、話題や題材の設定を工夫することが大切です。その際、複数の話題や題材を提供し、生徒一人一人の興味や関心に応じて話題や題材を選ぶことができるようにします。本单元では、第1時と第2時において、題材を選ぶ場面を設定します。

#### 《題材を選ぶ場面（第1時）》



次の新聞広告（資料1）の中から、自分の関心のある新聞広告を題材として選びましょう。また、題材を選んだ理由を記録しておきましょう。

<p>フードロスをなくそう！</p>	<p>手書きだからこそ、伝わる気持ちがある</p>	<p>その投稿、本当に大丈夫？</p>	<p>平和について考えよう</p>	<p>住みにくい、海</p>
広告A	広告B	広告C	広告D	広告E

※ 新聞広告のイメージ

資料1 新聞広告

小鳥のイラストが可愛くて印象的だから、広告Bにしようかな。



この中では、海洋汚染問題が気になるから、広告Eにしようかな。



SNSの問題はとても身近なものだから、広告Cにしよう。



#### 《題材を選ぶ場面（第2時）》



前時で選んだ題材と選んだ理由について、友達と共有してください。友達の考えを聞いて題材を変更したくなった場合は、変更してもいいですよ。

小鳥のイラストが可愛くて印象的だから、広告Bにしようと思っているよ。



確かに、広告Bは、小鳥が手紙を運んでいる様子が可愛らしいね。僕は広告Eにしようと思っているよ。環境問題について学習したことを生かすことができると思うんだ。



以前に学習したことを生かすというのも大事だね。私は、やっぱり初めに決めたとおり、広告Cを題材として批評文を書こうと思うよ。インターネットの中でのトラブルは、中学生には身近な問題だと思うんだ。



2人とも題材についてしっかりと理解しているね。2人の選んだ理由を聞いて、「可愛くて印象的だから」じゃなくて、「見る人に手書きのよさを印象的に伝える効果があるから選んだ」のだと、選んだ理由が変わったよ。



下線部は友達の選んだ題材と選んだ理由を聞き、題材について理解が深まった様子を示しています。

#### ポイント



学ぶことに興味や関心をもつために、話題や題材の設定を工夫することが大切です。本单元では、第1時で選んだ題材について、第2時で選び直す機会を提供します。友達の選んだ題材と選んだ理由を聞くことで、題材について理解が深まり、興味や関心をもって題材に向かう姿につなげることができます。

(2) 生徒の「生徒同士の協働や、教職員や地域の人との対話を通じ、自分の考えを広げ深める」姿を実現する教師の働きかけ

① 模造紙や付箋の活用



生徒同士の協働を通じ、自分の考えを広げ深めるために、自他の考えを可視化し整理できるようにすることが大切です。付箋に情報を書き、その付箋を内容ごとに並べ替えることで、考えを整理することができます。本単元では、題材について観点を決めて分析する場面で、同じ題材を選んだ生徒同士でグループを編成し、話合いながら題材の特徴を書いた付箋を模造紙に貼って、比較したり関連付けたりできるようにします。

《題材について観点を決めて分析する場面（第2時）》

- まず、どのような観点があるか、次の手順で考えていきます。
- ① 題材の特徴を付箋に書きます。
  - ② 同じ題材を選んだ友達同士でグループを作ります。
  - ③ 題材の特徴を書いた付箋を模造紙に貼って、話し合いながら比較したり関連付けたりして、題材について分析する観点を決めます。
  - ④ 話合いの中で、新たに気付きや疑問が生まれた場合は、付箋に書いて付け加えます。

グループでの話し合い活動のイメージ



広告B

手紙を読む女性、手紙を運ぶ小鳥、ポストという付箋は、「イラスト」というようにまとめることができるね。

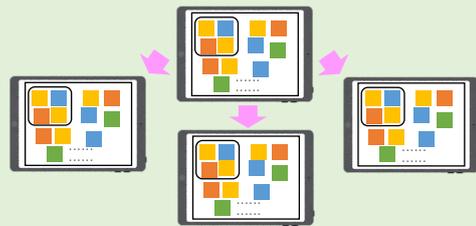
どうして小鳥の色が青いのだろう。意図があるかもしれないから、調べてみようかな。



広告の中の短い文は、「キャッチコピー」だね。「手書きだからこそ、伝わる気持ちがある」ってどういうことかな。

「制作者の意図」という観点を立てて、制作者が「イラスト」や「キャッチコピー」で伝えようとしたことについて分析するとよさそうだな。

※ 話し合いのあと、付箋を貼った模造紙を1人1台端末で撮影し、グループの中で共有できるようにします。



次に、ワークシート（資料2）に、観点ごとに付箋の内容を整理しながら題材について分析し、自分の考えを明確にしましょう。分析する際は、話し合いの中で生まれた気付きや疑問を手掛かりにしましょう。

制作者の意図	キャッチコピー	イラスト	観点	○観点を決めて分析する。 ↓題材の特徴から考えたこと
↓手書きだと、メールやパソコンで作る文章では伝わらないものが伝わる。	↓イラスト・キャッチコピー ↓手書きの手紙のよさを知って、手紙を手書きするようになってほしい、という内容。	↓青い鳥が幸福の象徴。手紙（＝幸福）を運んでいる。	↓手紙を読む嬉しそうな女性。青い鳥が手紙を運ぶ。	

資料2 ワークシート

ポイント

生徒同士の協働を通じ、自分の考えを広げ深めるために、模造紙や付箋を活用して、自他の考えを可視化し整理できるようにすることが大切です。また、手書きしたノートやワークシートなどでも、1人1台端末で撮影することで共有できます。生徒の実態に応じたICTの活用を行うようにしましょう。

## ② モデルや構成メモの活用

### 生徒の学びの姿

生徒同士の協働や、教職員や地域の  
人との対話を通じ、自分の考えを広げ  
深める。

### 「対話的な学び」

### 教師の働きかけ

立場を明確にした交流を行うことが  
できるように、話し合い活動の前に、自分  
の考えとその根拠をもたせるための  
時間を確保する。

生徒同士の協働を通じ、自分の考えを広げ深めるために、話し合い活動の前に、自分の考えとその根拠をもつことができるようにすることが大切です。本単元では、批評文の構成を考える場面で、話し合い活動の前に批評文のモデルやその構成メモを提示したり、構成メモを書く時間を十分に確保したりすることで、論理の展開を考えて、文章の構成を工夫することができるようにします。

#### 《批評文の構成を考える場面（第3時）》

##### ・構成メモのモデルの活用



本時の目標は、「文章の構成が主張を導くための筋道の通った考えの進め方になるように、構成メモを作成しよう」です。「筋道の通った考えの進め方になるように」するためには、どのような文章の構成にするとよいでしょうか。批評文のモデルやその構成メモを見て、気付いたことはありますか。

書き手の考えが序論と結論に述べられている双括型になっています。序論では考えを書いたあとに、その考えと対比的な一般論を述べてあります。そのあと、本論で考えの根拠を示し、自分の考えの正しさを示しています。



根拠として資料が適切に引用してあるので、考えが分かりやすく伝わってきます。



##### ・構成メモを書く時間を十分に確保



それでは、批評文のモデルやその構成メモを参考にしながら、第2時のワークシートを基に構成メモを作成しましょう。

##### 自分の 考えをもつ

序論では、「『手紙は、書いた内容以上の気持ちを伝えることができる』ということ、この新聞広告は伝えようとしている」という考えを書こう。その根拠として小鳥の「イラスト」と「キャッチコピー」を挙げよう。



##### ・話し合い活動



構成メモができたら、同じ題材を選んだ友達同士で見せ合い、次の視点で互いに助言をしましょう。

##### 構成メモについて助言する際の視点

- ①論理の展開に飛躍がないか
- ②引用する資料が自分の考えの根拠としてふさわしいか

#### 話し合い活動のイメージ

序論では考えを書いたあとに、「手書きの手紙を送る機会が減ってきている」という一般論を示そうと思うんだけど、論理の展開に飛躍はないかな。



確かに手書きの手紙を送る機会が減ってきているね。「『手書きの手紙だと、書いた内容以上の気持ちが伝わる』ということ、この新聞広告は伝えようとしている」という考えは、具体的にはどういうことかな。

手書きの手紙って、メールやパソコンで作る文章と比べると、相手を思って手間と時間を掛けるから、書いた内容以上の気持ちが伝わると思うんだよね。



それなら、「最近、タイムパフォーマンスが重視されていて、手間や時間が掛からないことはよいことだと言われている」という現状について書いた上で、「しかし、そうとも限らない」というように、論理を展開していくのはどうかな。

##### 考えを広げ 深めている

確かに、そのような論理の展開の方が自分の考えと対比するから、より伝わりやすくなるし、筋道が通っているね。



#### ポイント

生徒同士の対話を通じ、自分の考えを広げ深めるために、話し合い活動の前に、自分の考えとその根拠をもつことができるようにすることが大切です。また、自分の考えとその根拠をもつことができるようにするために、モデルを提示したり、考えるための時間を十分に確保したりするなどしましょう。



(3) 生徒の「『言葉による見方・考え方』を働かせる」姿を実現する教師の働きかけ



「言葉による見方・考え方」を働かせるために、言葉で理解したり表現したりしながら、広げたり深めたりした考えを、確認したり関連付けたりできるようにすることが大切です。本単元では、単元の終末に生徒同士で互いの批評文を読み合い、相互に助言を行います。その助言を基に、自分の批評文について評価したあとで、単元全体の学習の振り返りを文章で書く場面を設定します。このように、学習したことについて文章で書く場面を設定することで熟考を促し、学習の中で広げたり深めたりした考えを、確認したり関連付けたりすることができるようにします。

《助言の視点を確認する場面（第5時）》

互いの批評文を読み合い、相互に助言を行います。どのような視点で助言を行うといいでしょうか。単元の計画表（資料3）や単元の目標（資料4）、ワークシートを基に、これまでに学習した内容を振り返って考えましょう。

**学習した内容を想起する**

論理の展開を考えて書いたので、論理の展開についての視点が必要だと思います。

表現の仕方を考えたり、資料の引用をしました。だから、それらが適切であるかどうかを確認する必要があると思います。

単元	単元目標	学習の振り返り
1	この単元では、論理の展開を考え、表現の仕方を考えた資料を適切に引用したりして、自分の考えを分かりやすく伝える文章を書く力を伸ばす学習をします。	
2	自分の関心のある新聞広告を題材として選び、説得力のある批評文を書き	
3	この単元では、論理の展開を考え、表現の仕方を考えた資料を適切に引用したりして、自分の考えを分かりやすく伝える文章を書く力を伸ばす学習をします。	
4	自分の関心のある新聞広告を題材として選び、説得力のある批評文を書き	
5	この単元では、論理の展開を考え、表現の仕方を考えた資料を適切に引用したりして、自分の考えを分かりやすく伝える文章を書く力を伸ばす学習をします。	
6	自分の関心のある新聞広告を題材として選び、説得力のある批評文を書き	

資料3 単元の計画表

それでは、次の3つの視点で、考えが分かりやすく伝わる文章になっているか確かめて、助言を行うようにしましょう。

**批評文について助言する際の視点**

- ①論理の展開に飛躍がないか
- ②表現の仕方は適切か
- ③引用する資料が自分の考えの根拠としてふさわしいか

**資料4 単元の目標**

この単元では、論理の展開を考え、表現の仕方を考えた資料を適切に引用したりして、自分の考えを分かりやすく伝える文章を書く力を伸ばす学習をします。

自分の関心のある新聞広告を題材として選び、説得力のある批評文を書き

資料4 単元の目標

《助言を基に、自分の批評文について評価し、単元全体の学習の振り返りを文章で書く場面（第5時）》

友達からの助言を基に、自分の批評文について評価します。助言を行ったときと同じ視点で、考えが分かりやすく伝わる文章になっているか、評価を行いましょう。

助言を基に、自分の批評文を評価することで、自らの学びを丁寧に見つめ直す

③の引用する資料が、自分の考えと関係が深いという意見がある。これらに補足する必要がある。関係について、更に補足することがあった。

①については、論理の展開に飛躍がないという気が筋道の通った考えの進め方になった。筋道の通った考えの進め方になった。筋道の通った考えの進め方になった。

傍線部は、自らの学びを丁寧に見つめ直し、学んだことを認識している部分を示しています。

単元全体の学習の振り返りを書きます。次の3つの視点で書くようにしましょう。

**振り返りの視点**

- ①単元の目標を達成するために頑張ったこと
- ②単元で工夫しようとしたが十分ではなかったこと
- ③今回学んだことを、これからどのように生かしていくか

単元全体の学習の振り返りを書くことで、学習の中で広げたり深めたりした考えを、確認したり関連付けたりする

友達からの助言で、自分の批評文に足りない部分があった。これを補足する。補足が十分かどうかを確認した。

今、後、説明的な文章を読む際にも、論理の展開に飛躍がないかどうかを確認したい。

傍線部は、学習の中で広げたり深めたりした考えを、確認したり関連付けたりしている部分を示しています。

**ポイント** 「言葉による見方・考え方」を働かせるために、学習したことについて文章で書く場面を設定することで熟考を促し、学習の中で広げたり深めたりした考えを、確認したり関連付けたりできるようにすることが大切です。その際、学習した内容を想起できるようにしたり、書く際の視点を示したりするなどして、自らの学びを丁寧に見つめ直すことができるようにしましょう。